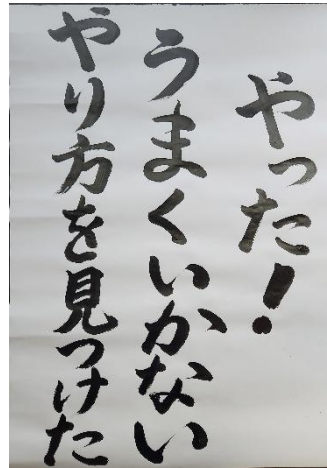


慶念寺々報

つながり

慶念寺の掲示板 第五十一回



「やった! うまくいかない

やり方を見つけた」

十一月に十年目を迎えた慶念寺。九年前「阿弥陀様のお救いの中で、安心できるお寺にしたい」との思いを胸に開所しました。

開所当時は、研修を受けてはいたものの現場経験はあまり無い状態でした。どう動いていいのかもわからず、無為に過ごした時期もあったと今になってから思います。そんな中で、法要・儀式のやり方や、お参りの方にお渡しする物。他にも公開講座など、少しずつ慶念寺らしいやり方を模索してきました。

良くも悪くも大きく状況が動き出したのが、新型コロナウイルスの感染拡大の時期。社会が急激な変化を迎えた時でした。人と触れ合う機会も減って、インターネットで試行

錯誤を繰り返すような時期でした。そんな時に始めたのがブログ。そして、寺報の発行です。

自分に課したルールはブログは「なるべく毎日更新」、寺報は「毎月発行」でした。この二つ

は、出来ることが限られて鬱々としていた私のモチベーションを支えるという面でも、「なかなか会えないけれどつながっている」という面でも慶念寺というお寺のあり方を構築してくれたものであったと思います。

しかし、最初からうまくいっていただけではありません。ブログも寺報もトライ&エラーの繰り返しでした。

「失敗を恐れないで挑戦する」その思いで色々とやってきました。しかし、失敗は怖い。常に漠然とした不安に苛まれていたある時、子ども達にせがまれて、エジソンの絵本を読んだ時のことです。「失敗したんじゃない。うまくいかない方法を1万通り発見したんだ」というセリフに、感銘を受けました。この言葉は「失敗を恐れずに挑戦すること」ではなく「準備を尽くしたのならどんな結果になっても得られる学びはある」

帰敬式のおすすめ (法名)

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。



と言っているのだと思いました。

だからと言って不安は無くなりませんし、失敗だってします。でも大丈夫。その不安が準備につながり、失敗が発見につながる。そう思った時「だから阿弥陀様は『不安を無くしなさい』『良いことだけをしなさい』とは仰らなかつたんだ」とストンと腑に落ちました。これからも慶念寺を「阿弥陀様の前で安心ができる場所」にできるよう様々な活動に励んでいこうと思います。

おてらおやつクラブに

「協力をお願いいたします!」



おてらおやつクラブとは、お寺に供てやう「おさがり」として、経済的に困難な状況にあるご家庭に「おすそわけ」する活動団体です。

年末年始は、家庭で過ごす時間が増え経済的な負担が大きくなります。一つでも多くのご家庭に送るために、十二月の法話会に向けておそなえをいただければ幸いです。おそなえの例としては

- ・ お米やお餅(二キログラム程度の小分け)
- ・ 常温保存のできる食品(溶けないもの)
- ・ 文房具などの日用品

食品は、賞味期限が二週間以上あるものでもお願いいたします。缶詰やレトルト食品など、子どもだけで食べられるものが喜ばれるようです。お菓子などは、小分けのものですと、より多くの家庭に支援をすることができます。お供えに関して疑問質問がありましたら気兼ねなくお尋ねください。



築地本願寺の報恩講に

出仕してきました



こちらでも毎年の恒例ですが、十一月十一日(火)から十六日(日)までお勤めをされる築地本願寺の宗祖報恩講に結衆や奏楽員(雅楽を奏する僧侶)として住職が出仕をしてきました。十二日の主管から始まり、十三日にはご門主様御導師のもと結衆として出仕。十六日の満日中法要では、奏楽員として鉦鼓という打物を担当しました。

十一日の吹合せから参加だったので、ほぼ毎日築地を行ったり来たり。その間に慶念寺の報恩講の準備を進めるなど、かなりバタバタな一週間を過ごしました。

しかし、慶念寺だけでなく築地本願寺でも重要な役目を任せてもらえるようになったことは純粋に喜ばしいことです。これから「内外で頼りにされる僧侶を目指そう」と思いを新たにいたしました。

仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応し兼ねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社が**お決まりでも、お寺への連絡は直接お問い合わせいたします。**

發送作業のお手伝いのお願い

寺報の發送作業のお手伝いをしていただくる方を募集いたします。

日時：令和七年十二月二十一日(日)

法話会に引き続き

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

みなんでワイワイとおしゃべりしながらやっている發送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々子どもたち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。ご希望の方は、終了後に駅までお送りいたします。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

次回の法話会は

十二月二十一日(日) 十四時から 慶念寺本堂にて

「定例法話会」を行います。住職がお話をする予定です！手ぶらで、ふらっとお参りください。大歓迎です！また、おてらおやつクラブのお供えもお待ちしております！

編集後記

今月の寺報を書くにあたって、先月の寺報を確認してみると、大量のミスを発見。確かに先月も夫婦そろって忙しかったけどあまりのミスの多さに愕然としました。ご迷惑をおかけした方大変申し訳ありません。ただ、今月も大忙し。築地本願寺の報恩講の直前には、三重のお寺の住職継職法要に法話の講師として行ってまいりました。なぜそんな遠いところに行ったのかというと、今ご安置しているご本尊様がつかないでくださったご縁なのです。詳しくはブログをご覧いただければと思うのですが、有難いご縁でした。

ともあれ、報恩講が終わって一気に年末に向けて動き出していきます。今回の寺報はミスが無いようにしっかりと確認してから刷っています(刷ろうと思っています)！来月の發送作業は、ちゃんと法話会の後に行う予定です！よろしくお願いたします！

浄土真宗本願寺派
歓喜山 慶念寺

〒214-0012

川崎市多摩区中野島 4-24-2-5

電話：044-819-5482

FAX：044-819-5538

Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL

https://kyounenji.com/



慶念寺ホームページ QR コード